

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



令和3年度 林道事業の取組

【森林整備課】

【はじめに】

森林は、水源の涵養、国土の保全、木材の生産といった多面的な機能を有しています。近畿中国森林管理局では、個々の国有林野を重点的に発揮させるべき機能に応じて機能類型区分を定めており、間伐等の機能類型区分に応じた適切な施業を通じて得られる木材の安定的な供給に努めています。

林業の重要な生産基盤のひとつである林道等の路網整備は、人工林を「伐って、使って、植える」といった循環利用を行い、林業の成長産業化と森林の適切な管理を両立していく上で非常に重要です。

このため、近畿中国森林管理局では、森林の整備及び保全、木材の生産及び流通の効率化を図る観点から適切な路網の整備を進めることとしています。

また、林業の生産性の向上を図るため、トラック等が走行する林道と、主として林業機械が走行する森林作業道において高性能林業機械を組み合わせた効率的な作業システムの構築に取り組んでいるところです。

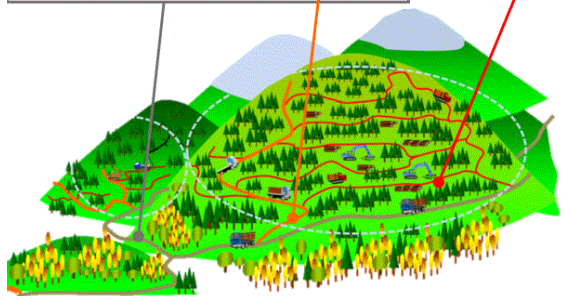
【令和3年度の取組】

当局管内の林道は、現在、910路線で総延長は約2,300kmとなっています。令和3年度は、令和2年度に引き続き木材の伐採・搬出に必要となる林道の新設や、既設林道の修繕及び適正な維持管理など効果的な林道事業の実施に取り組むこととしています。具体的には、林道の新設は10路線で約5,100m、改良は30路線で約1,500mを整備するほか、次年度以降に林道の新設を予定する箇所の調査設計や林道の点検業務等を実施することとしています。



木材の循環利用のイメージ

林道 森林施業の実施に必要な路網の骨格となり、一部は一般車にも利用される道	林業専用道 主に森林施業に利用し、10ト積トラック等の走行を考慮した道	森林作業道 フォワーダ等の林業機械の走行を想定した森林施業用の道
---	---	--



《令和2年度 林道の新設状況》



新設された林道

一方、近年では、台風や集中豪雨に伴う甚大な被害が全国的に発生する傾向にあるため、災害に強い路網の整備に取り組むほか、災害が発生した場合は早期復旧に向け全力で取り組むこととしています。

特に、当局管内においては、平成30年7月に九州から近畿地方にかけて長い時間梅雨前線が停滞したことに伴う豪雨により、多くの林道が被害を受けました。その被害は148路線で695箇所を上りました。中でも大きな被害を受けた兵庫及び広島森林管理署管内の林道では、現在でも引き続き災害復旧に取り組んでいるところです。

《令和2年度 林道の復旧状況》



被災した林道



復旧後

【市町村への支援の取組】

前述したとおり、近年、前線、台風等に伴う局地的な豪雨などの自然災害が多発しています。

大規模な被害が発生した場合は、民有林や国有林を問わず林道は大切なインフラであり早急な対応が求められます。

このため、国有林においては、関係機関等と連携しつつ市町村への技術的な支援など、被災箇所の早期復旧に向けて取り組むこととしています。

また、市町村への支援を通じて、人材の育成にも貢献して行きたいと考えています。

【おわりに】

管内の国有林野面積は約31万haで、路網整備の現状は全国の国有林の路網密度8.1m/haに対し、7.4m/haと若干低い状況にあります。これは、管内の国有林が小規模で分散して所在していることや、民有林に比べ国有林は奥地に位置し急峻な地形となっていることが影響しています。

戦後植栽された人工林が本格的な利用期を迎えている今、林業の成長産業化と森林の適切な管理には、路網の整備は不可欠となっています。このため、森林資源の状況や地域からの要望、優先度を考慮し、丈夫で効果的な路網整備に取り組んでまいりたいと考えています。

林道施設災害への支援

林道災害発生時の外業調査等

【支援ツール】

- 近年多発する集中豪雨等により被災した林道の早期復旧に向け、市町村の林道担当者に対し災害申請等の業務を支援します。
- 集中豪雨等により市町村道等が被災し、集落が孤立した場合、必要に応じて既存の国有林林道及び森林作業道を生活道路として地域で活用できるよう調整します。

災害支援のメニュー例

- 林道被害状況の確認
- 被害箇所の調査（写真撮影、測量）
- 被害状況のとりまとめ
- 応急復旧に対する技術的助言
- 復旧計画書の作成に向けた助言
- 復旧計画書の作成 など



林道災害派遣（市町村との打合せ）



災害箇所の現地調査

※広域的な災害が発生した場合、必ずしも希望に添えない場合もあります。

大規模災害が発生した場合の支援

ニュース

国有林材供給調整検討委員会を開催しました。

【資源活用課】

6月10日（木）、近畿中国森林管理局では、「令和3年度第1回近畿中国森林管理局国有林材供給調整検討委員会」を開催し、近頃、価格が上昇している木材の需給動向について、事務局からの説明や各委員からの現況報告を基に検討を行いました。

検討の結果、「地域の木材需要の動向、民有林材の供給状況、木材の輸出入状況等について情報収集を行いながら、原木が不足する地域では、素材生産事業の早期発注を行うとともに、立木販売物件でも可能なものは前倒しして販売を実施していく」との意見がまとめられました。

（概要等は局ホームページに掲載しています。）

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hanbai/mokuzai-kaigi/210624.html>



市売りに出された国有林材（和歌山署）

山口県立山口農業高等学校で出前講座を行いました。

【山口森林管理事務所】

山口森林管理事務所では、6月18日（金）に山口県立山口農業高等学校で環境科学科（森林資源コース）2年生17名の生徒を対象に、出前講座を行いました。

この出前講座は、今年で8回目の開催になります。



講義をする元山所長

元山所長が国有林の歴史、森林管理署等の仕事、ドローンを用いた苗木運搬や油圧式集材機による木材搬出の作業について、此村首席森林官が、現場の第一線で働く森林官の業務内容等について、それぞれ講義を行いました。

生徒達は、「ICT技術が発達し、これまでの林業に比べ変化してきていること」、「^{なたのこぎり}鉋や鋸などの刃物」、「小型高性能GPSやドローンなどの機械類」等に興味を示していました。最後に、同行した平木森林整備官からは、採用試験の仕組みや女性職員から見た職場の様子などを実体験も交えて説明しました。

講義のあと、生徒達から提出されたレポートでは、「林野庁の仕事に興味を持った」、「将来の選択肢のひとつとしたい」など前向きな感想が多く寄せられました。

今回受講した生徒の多くが、将来林野庁を志望し、「森林・林業」を支える新たな担い手として活躍されることを期待しています。



京都府立林業大学校2年生が嵐山国有林で現地実習をしました。

【京都大阪森林管理事務所】

6月18日(金)、京都府立林業大学校が京都府立大学の三好准教授を講師に迎え、嵐山国有林で2年生16名が参加した実習を行いました。

京都大阪森林管理事務所では、嵐山国有林の概要や取組内容を説明するとともに、今年度の新規採用者を含む若手職員3名も実習に参加し、学生の皆さんと一緒に学びました。

三好准教授から「治山事業の新しい展開～嵐山国有林における市民参加型の森づくりと治山事業～」と題し、平安時代には貴族の別荘地であったという歴史にまつわることから始まり、

1. 地形・地質から形成される嵐山の特徴
2. 天龍寺庭園の借景でもあり景観に配慮した施業
3. 市民の意見を反映した森林施業
4. 土壌流出に繋がるシカによる食害状況及びシカが食べない植物の名前
5. 土石流を防ぐのに大いに役立っている治山施設の役割

など多岐にわたる講義が行われました。

生徒からは、「嵐山の施業はいつまで続くのか」、「市民の方を対象にした意見交換会は年に何回程度開催されるのか」等の質問があり、引率の先生からも「林内で“見て・触れ”ながら様々なことを聞いてよかった。生徒も大変勉強になったと思う」との感想が聞かれました。

この現地実習は林業大学校2年生の「森林機能保全」科目に位置づけられ、毎年実施されています。来年度も参加されることを楽しみにしています。



嵐山国有林の対岸の公園から外観を望みながらの講義



林内で森林施業の考え方を講義

鳥取自然休養林の清掃活動を行いました。

【鳥取森林管理署】

鳥取森林管理署では、6月26日(土)、鳥取自然休養林の管理道の側溝清掃活動を行いました。^{きゅうしょうざん}久松山・鳥取自然休養林運営協議会の会員である「久松山を考える会」、県、市及び当署の職員総勢30名が参加しました。

この活動はコロナウイルスの影響で去年は未実施だったため、側溝にはかなりの土石や落葉がたまっていたが、参加者全員で協力し、大宮池周辺約200mの管理道の側溝をきれいにしました。



清掃活動の様子

清掃中は、ウォーキング中の方々に「お疲れさま」「ありがとうございます」とねぎらいの言葉をかけていただきました。安全確保のためにもこうした言葉を交わす活動の輪が広がることを期待します。

鳥取自然休養林は市民の憩いの場として利用されており、安心してウォーキングが楽しめる市民の皆様に愛される山として今後も守っていく必要があることを改めて感じました。



清掃活動を終わりの集合写真

お知らせ

森林のギャラリー（局庁舎1階）



【技術普及課】

○森林のギャラリー（局庁舎1階）現在の展示内容は下記の局ホームページでお知らせしています。

8月25日から「近畿農政局」「一般財団法人 大阪府みどり公社」の展示を行う予定です。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>



【箕面森林ふれあい推進センター】

○令和3年度「森林ふれあい推進事業」のイベント実施団体等を募集中です。

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/fureai_suishin/fureai_suishin.html



○こだま通信115号を発行しました。

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/booklet/kodamatushin.html



【三重森林管理署】

○大杉谷国有林からの手紙（52通目）を発行しました。

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/mie/information/oosugitegami_052.html



【林野庁】

○「おかえりモネ」解説ページ

林野庁でも放送されたストーリーに併せて、森林や林業等について独自の解説をしています。

https://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/kouhousitu/okaeri_mone.html



花草木

【ハス（蓮）】

ハス（蓮、学名: *Nelumbo nucifera*）は、インド原産のその独特の花や葉っぱが美しいハス科多年性水生植物です。日本での古名「はちす」は、花托（かたく）の形状を蜂の巣に見立てたとするのが通説で、「はす」はその「はちす」がなまって変化したようです。別名では、水芙蓉（すいふうよう、みずふうよう）、もしくは単に芙蓉（ふうよう）、不語仙（ふごせん）、池見草（いけみぐさ）、水の花などがあります。

水の底に塊茎（カイケイ）という大きな根っこをつくり、そこから茎や葉っぱを伸ばして生長します。草丈は50～100cmほどで、茎の先に花を咲かせます。根は「蓮根（れんこん）」、花を支える花托は「ハチス」と呼ばれ、葉っぱや芽など植物全体が食用や薬用、様々な方面で利用されています。

- ・開花期 7～9月
 - ・花の色 白、ピンク、黄
 - ・花言葉 「清らかな心」「休養」「雄弁」
 - ・よく似た水生植物睡蓮（スイレン）の違い、見分け方
- | 名前 | 蓮（ハス） | 睡蓮（スイレン） |
|----|---------------------------|----------------------------------|
| 花 | 水面より上に咲く | 水面に咲く |
| 葉 | ● 円形
● 水を弾く
● 光沢がない | ● 切れ込みがある
● 水を弾かない
● 光沢がある |
| 特徴 | ● 根が蓮根として食べられる
● 花托がある | ● 食用には向かない
● 花托がない |



大阪市内の公園で撮影したハスの花

我が署のスタッフ

三重森林管理署

田中 惇也（たなか じゅんや）（平成29年度採用）

【現在取り組んでいる仕事は？】

平成29年に三重署で採用となり、平成30年4月に尾鷲森林事務所^{おわせ}に異動となって今年で4年目となります。

主な業務としては、地域統括森林官の監督・調査の補助や、国有林の周りを囲う境界標の確認業務である「巡視・巡検・予備調査」業務を主に担当しています。

また今年度からは上記の仕事に加え、今後5年間の森林の伐採等を計画する森林計画策定の仕事にも携わっています。どの仕事も、木材の生産や国有林の境界線管理の礎となる重要な仕事です。責任はとても大きいですがその分やりがいも大きく、仕事に誇りを持って励んでいます。

【職場の雰囲気は？】

尾鷲森林事務所は治山事業所も含め3人と本署の三重森林管理署に比べると人数はとても少ないですが、気軽に報告や相談ができるアットホームな雰囲気です。時には3人で協力し汗をかきながら林道の横断溝の掃除を行うなど団結力は抜群です。

【林野庁の魅力は？】

実際に国有林という広大なフィールドで森林施業に関わる仕事ができる事が一番の魅力だと感じています。また時折、カモシカや野鳥等の山の住民達と会えるのも大きな魅力の一つだと思います。



エゴノキとヤマガラ



国有林境界を巡視中

森林事務所紹介

東山森林事務所（京都大阪森林管理事務所）

首席森林官 松浦 弘二（まつうら こうじ）

東山森林事務所は、京都府京都市・宇治市・木津川市・井手町に所在する23団地約1,074haの国有林を管理しています。部内には、大小の国有林が点在しており、その多くは市街地近郊に位置し、住宅や寺社仏閣等に接していることから、古都京都の景観を形作る重要な山々となっています。その一つの嵐山国有林は国有林自体が観光名所で、ここに隣接する松尾山などはハイキングコースが設定されていることから、平日、休日を問わず非常に多くの人を訪れています。



きよみずでら こうたいじやま
清水寺と高台寺山国有林



獣害用の防護柵を設置した安祥寺山国有林

京都市内の国有林は平成30年9月に来襲した台風21号により、大規模な風倒木被害が発生しました。被害地の復旧については、優先度に応じて計画的に進めており、奥山の被害地についても早急な復旧を目指し取り組んでいます。

京都市山科区あんしょうじやまの安祥寺山国有林では風倒木処理の跡地に、森林再生のため、シカによる食害を防ぐため防護柵を設置しスギ・ヒノキの植栽を行いました。定期的に防護柵の点検や補修を行い、植栽したスギ・ヒノキは順調に生育しています。

部内の国有林は、地域住民や観光客の身近にあることから、

日頃の業務の中で、台風被害地の早急な復旧、住宅地等における危険木対応、住民や利用者からの様々な要望対応に取り組むとともに、国有林の巡視等を行うことにより山火事警防や不法投棄の未然防止など、地域に貢献できるよう努めています。



とげつきょう
渡月橋と嵐山国有林



入込者の多い松尾山国有林の山火事注意喚起

シリーズ 『国有林 最前線！』

～『近畿の水瓶』琵琶湖を囲む国有林たち～

滋賀森林管理署

滋賀森林管理署は、滋賀県一円に約 18,000ha の国有林野を管理しております。国有林野の大半が県境付近に分散しており、その大部分が国土の保全や水源涵養など、公益的機能の維持増進を旨とした森林です。

また、大津市内など一部の国有林は、住宅地に隣接し、地域住民の生活に密接したところもあります。

今回は、滋賀森林管理署が管理する国有林の一部を紹介します。まず、県南部の大津市、栗東市に所在する一丈野国有林、大鳥居山国有林、金勝山国有林です。これらの国有林は、「近江湖南アルプス自然休養林」として、林野庁が指定する「日本美しい森 お薦め国有林」（レクリエーションの森）となっています。山頂部一帯では、風化・浸食によってできた花崗岩の巨岩・奇岩が織りなす奇景が楽しめ、その他、キャンプや水遊びなど、



近江湖南アルプス（一丈野国有林）

年間の利用者が数万人にもなります。

次は、県北部の長浜市にある上谷山国有林です。日本海型ブナの南限であり海拔 500m 付近からブナ、ミズナラが優先的かつ広範囲に分布していることから「上谷山生物群集保護林」に設定しています。

また、同国有林は、福井県、岐阜県の保護林等を連結した「越美山地緑の回廊」にも設定しており、森林生態系の保護、保全を担っています。

最後は、近江八幡市にある伊崎国有林です。「近畿の水瓶」琵琶湖に面した同国有林では、昭和の末期頃、カワウの営巣が確認されて以降、生息数が増加し、平成 16

年には、1万羽以上の生息が確認されました。この沢山のカワウの糞害により、樹木の生長に著しく影響が現れ、ヒノキの枯死等の森林被害が深刻化しました。このため、学識経験者や関係機関等とワーキンググループを設け、カワウの抑制対策を講じました。現在は、カワウの糞害による森林被害は見られず、森林としての機能は改善に向かっていきます。

今回は一部の国有林の紹介となりましたが、当署が管理する国有林は、その他にも様々な機能を持っており、公益重視の管理経営や国民の森林としての管理経営など、県民を始め多くの人々の生活や暮らしに役立つ取組を今後も続けていきます。



ブナ・ミズナラ保護林
(上谷山国有林)



カワウ被害（伊崎国有林）